

湖西市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

効果検証シート 【令和2年度事業の評価】

令和3年11月

湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、4つの基本目標ごとに、それぞれの目標の達成度合いを測る「数値目標」を数値目標を達成していくための「施策」が設定されています。また各施策には、それぞれ重要業績評価指標（以下「KPI」という。）が設定されています。

各基本目標に対する評価は、数値目標の推移、達成度合いと、実際に事業を実施した成果としての各KPIの評価の2つの視点から、地方創生に効果的であったかについて総合的に4段階で判定しました。

【基本目標評価区分について】

区分	評価内容・基準
A	地方創生に非常に効果的であった
B	地方創生に相当程度効果があった
C	地方創生に効果があった
D	より一層の取組が必要

【KPI評価区分について】

区分	評価内容・基準
A+	地方創生に非常に効果的であった ※現状値が当初の目標値を上回っており、かつ、前年度の実績値を上回った
A-	地方創生に非常に効果的であった ※現状値が当初の目標値を上回っているが、前年度の実績値を下回った
A	地方創生に非常に効果的であった ※現状値が当初の目標値を上回った、当初の目標値を維持しているなど
B	地方創生に相当程度効果があった ※現状値が当初の目標値を上回ることにはなかったものの、相当程度（目標値の7～8割）達成した
C	地方創生に効果があった ※現状値が当初の目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前の数値より改善したなど
D	より一層の取組が必要 ※現状値が事業開始前の数値より悪化しているなど

湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度の評価について

【総合評価】

各施策ごとの取組みについては、それぞれのKPIの数値が示しているとおりであり、各事業の実績としては、一定の効果が現れているものと考えます。

しかしながら、まち・ひと・しごと創生総合戦略が人口減少対策を目的としていることを踏まえると、基本目標2の数値目標である「社会増加数」について、5年間の累計では、大きな減少となっていること、また基本目標3のKPI「人口1,000人あたりの年間出生者数」も、目標値を大きく下回っており、令和2年度は横ばいであるものの、減少傾向であるという厳しい結果となりました。

今回の評価を踏まえつつ、今後は、

- ①安心して暮らすことができる
- ②結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できる
- ③稼ぐ力に満ち、安心して働ける
- ④新たなつながりを築き、新しいひとの流れがある

まちづくりに一層努めていく必要があると考えています。

人口減少対策は、さまざまな事業を地道に積み重ねていき、そのうえで成果として現れるものであり、すぐに結果につながるものではありません。昼夜間人口差の解消といった、湖西市の特性・課題にあった対策を打ち出していくことで、新たな総合戦略の事業に取り組んでいきます。

【各基本目標に対する評価】

基本目標	評価
基本目標1 湖西市における安定した雇用を創出する 湖西市では、自動車産業を中心とした製造業を主とする既存産業のより一層の活性化と、企業の誘致・育成を図ることで、雇用を安定かつ増強させ、人口増加につなげていくことが重要であると考えます。 基本目標1については、雇用の創出や企業立地促進、就労環境の充実化といった各事業に着実に取り組んだことで、KPI及び数値目標の目標値には到らなかったものがあるものの、一定の実績をあげることが出来たと考え、B判定としました。 なお、今後は浜名湖西岸土地地区画整理事業の進展により、一層の雇用創出効果が期待されます。	B
基本目標2 湖西市への新しい人の流れをつくる 人の流れをつくり、人を呼び込むためには、移住・定住への具体的な支援や取組みが非常に重要となりますが、まずは、湖西市の魅力を知ってもらうため、観光資源等を活用し、交流人口、関係人口の拡大を図り、市の認知度を上げていくことが必要です。 基本目標2については、市としても重点的に対策を行うべく、さまざまな取組みを始めており、関係人口の増加を図る事業や定住促進を意識した事業を展開しているところであります。しかしながら、転出超過の流れは変わっておらず、今後も、事業内容の見直しや抜本的な取組み強化が必要であると考え、評価はD判定としました。 なお、新しい人の流れをつくるための取組みが、数値目標やKPIの数値として現れてくるためには、個々の事業の成果を地道に積み重ねていくことが大切であり、今後も湖西市の魅力を発信し、「湖西市」を選んでいただけるような取組みを継続していきたいと考えています。	D
基本目標3 湖西市の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 子育てに対するニーズが多様化する中、湖西市では、結婚・出産・子育てに対する支援を強化することで、出産数の増加による人口の自然増加と子育て世代の定住を図り、若者や子育てにやさしいまちづくりを目指しています。 基本目標3については、各KPIはA判定のものもあり、一定の成果を上げていると捉えることができます。しかしながら、数値目標となっている「合計特殊出生率」、及び「人口1,000人あたりの年間出生者数」については基準値から悪化し、下降傾向にあるため、D判定としました。現段階では大きな回復を見込むのは難しい状況で、結婚し子どもを産むであろう年齢層の女性が湖西市内に少ない、湖西市に戻ってきていないことが影響していると考えられます。 合計特殊出生率は、地方自治体レベルの施策で底上げをしていくことは難しく厳しい状況ではありますが、子育て世帯への支援、働きながら産み育てるための支援事業のKPIは良好な結果を示していることから、湖西市としてできること、支援できることを着実に実施し、併せてPRをしていきたいと考えています。	D
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしをまもるとともに、地域と地域を連携する 住みたい、住み続けたいまちとして選ばれるために、湖西市では「住」を充実させる施策に取組み、安全で安心なまちづくりを目指しています。 基本目標4については、各KPIの評価がA2つ、D2つと分かれてきましたが、Dとなった2施策については新型コロナウイルス感染症拡大の影響を強く受けるものであり、昨年度までは一定以上の成果を上げていること、数値目標の「湖西市が住みやすいと思う人の割合」についても、目標値には及ばないものの、高い一定数を保っていることから、安全・安心に住めるまちづくりといった施策の効果は出ていると考え、B判定としました。 今後も、防災・防犯とあらゆる観点からも安全で安心できるまちづくり、年齢や国籍に関係なく住みよいまちづくりを目指していきたいと考えています。	B

基本目標 1 湖西市における安定した雇用を創出する

評価

B

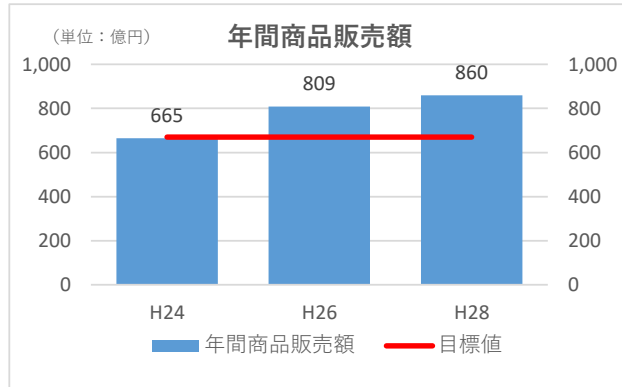
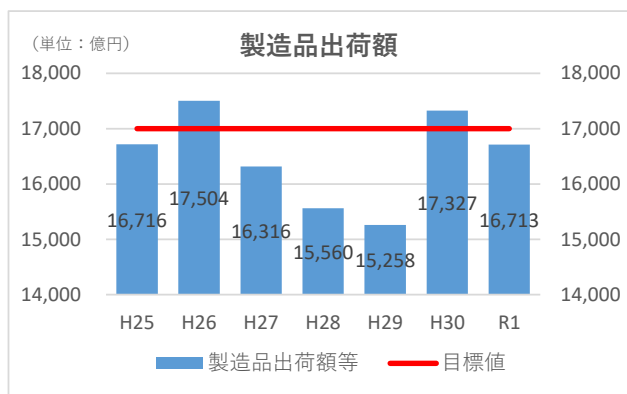
1 戦略の方向性

暮らしの糧となる産業の発展は、市民生活の安定に欠かせません。

本市では、特に盛んである自動車関連の輸送用機械や電気機械等の製造業を中心とした既存産業の活性化と、新たな産業の誘致・育成を図ることで、雇用の創出を図ります。また、地域の環境や資源を生かした農業・漁業の振興、商業等産業全体の活性化により、経済が元気で賑わいのあるまちを目指します。

2 数値目標の達成状況

数値目標	基準値	実績値	目標値 (R2)	指標担当課
製造品出荷額等	16,716億円 (H25)	16,713億円 (2020年 工業統計調査)	17,000億円	企画政策課
年間商品販売額	665億円 (H24)	860億円 (H28経済センサス-活動調査)	670億円 前年度実績値以上	企画政策課




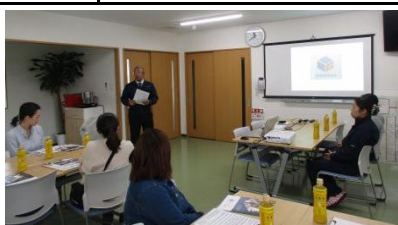
3 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

※R2は目標値

施策① 工業・商業の振興を図る	数値	評価	指標担当課
1事業所（従業者数4人以上の事業所）あたりの製造品出荷額等の県内順位	(H26) 1位	A	企画政策課
	(H28) 1位		
	(H29) 1位		
	(H30) 1位		
	(R1) 1位		
	(R2) 1位		
	(R2) 1位		
整備済み工業団地内の未利用地面積	(H26) 17,480㎡	B	都市計画課 産業振興課
	(H28) 12,549㎡		
	(H29) 12,549㎡		
	(H30) 12,549㎡		
	(R1) 11,194㎡		
	(R2) 11,194㎡		
	(R2) 10,000㎡		
湖西ブランドなどの商品数（加工品）	(H26) 3点	C	産業振興課
	(H28) 4点		
	(H29) 6点		
	(H30) 6点		
	(R1) 6点		
	(R2) 6点		
	(R2) 7点		
施策② 農業・漁業の振興を図る	数値	評価	指標担当課
認定農業者数	(H26) 83人	B	産業振興課
	(H28) 84人		
	(H29) 85人		
	(H30) 86人		
	(R1) 85人		
	(R2) 86人		
	(R2) 120人		

施策③	就労しやすい環境づくりを進める	数値	評価	指標担当課
地域職業訓練センターで職業訓練を受けた人の数	(H26)	2,033人	C	産業振興課
	(H28)	1,375人		
	(H29)	1,091人		
	(H30)	875人		
	(R1)	813人		
	(R2)	666人		
		(R2)	2,600人	
求職者と企業のマッチング件数（累計） ※各年度の（ ）内は各年度ごとの件数	(H26)	0件	A	産業振興課
	(H28)	16件（16件）		
	(H29)	37件（21件）		
	(H30)	56件（19件）		
	(R1)	76件（20件）		
	(R2)	94件（18件）		
		(R2)	90件	

4 主な取り組み

基本目標 1		湖西市における安定した雇用を創出する	
施策①		工業・商業の進行を図る	
事業名	組合土地地区画整理事業（浜名湖西岸土地地区画整理事業）	主管課	都市計画課
事業内容	企業の高台移転へのニーズ及び雇用の創出に寄与するため現在組合設立に向け準備中である浜名湖西岸土地地区画整理事業を推進する。		
R2実績	浜名湖西岸土地地区画整理事業への技術支援として、河川付替工事・物件移転補償等の業務を行った。また、令和2年7月に浜名湖西岸地区の組合設立を行い、令和3年1月に仮換地指定を行った。		
施策②		就労しやすい環境づくりを進める	
事業名	女性の再就職応援事業	主管課	産業振興課
事業内容	就労を希望する女性への支援及び潜在的労働力の掘り起しを目的に、キャリアコンサルティング・セミナー・企業とのマッチングを託児サービスと連携して行う。		
R2実績	女性対象のセミナー（8回）、企業説明会（1回）、個別相談（9コマ）を実施した（延べ45名参加、就職者6名）。		
その他の事業	事業名	事業内容	
	主管課	事業実績	
	農林水産業鳥獣被害対策補助金	農業者の生活の安定と生産性の向上のため、農林水産業等の鳥獣被害対策として、電気柵等の設置費用の一部を補助する。	
	産業振興課	農家が行う電気柵等の設置（38件）、有害鳥獣捕獲補などの鳥獣被害防止対策に係る事業に対し補助した。	

基本目標 2 湖西市への新しい人の流れをつくる

評価
D

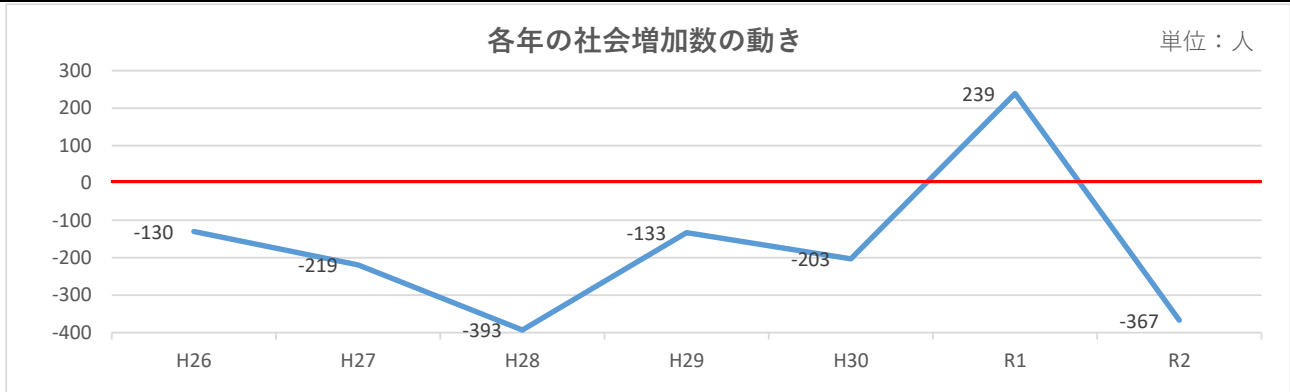
1 戦略の方向性

新しい人の流れをつくり、呼び込むためには、雇用の創出と併せて居住先として選ばれる環境を整備する必要があります。居住先として選ばれるまちを目指し、地域特性をPRしながら移住・定住を促進するために住宅取得等に係る支援を拡充します。

また、本市の観光資源により磨きをかけ、効果的に活用することで交流人口の拡大を目指します。

2 数値目標の達成状況

数値目標	基準値	実績値	目標値 (R2)	指標担当課
社会増加数 (5年間累計)	-167人 (H22~26累計)	-857人 (H28~R2累計)	0人 (H28~R2累計)	企画政策課



3 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

※R2は目標値

施策① 観光交流まちづくりを推進する	数値	評価	指標担当課
観光交流客数	(H26) 649,917人	D	観光交流課
	(H27) 674,933人		
	(H28) 675,278人		
	(H29) 624,924人		
	(H30) 607,467人		
	(R1) 633,573人		
	(R2) 476,692人		
	(R2) 800,000人		
新居関所 (史料館) 入場者数	(H26) 32,509人	D	スポーツ・文化課
	(H28) 33,228人		
	(H29) 26,214人		
	(H30) 22,773人		
	(R1) 18,016人		
	(R2) 10,266人		
(R2) 45,000人			
施策② 移住・定住の促進を図る	数値	評価	指標担当課
空き家バンク契約成立件数 (累計)	(H26) 0件	D	建築住宅課
	(H28) 0件		
	(H29) 0件		
	(H30) 0件		
	(R1) 0件		
	(R2) 0件		
	(R2) 8件		
市の出展する移住・定住に関するイベントブース来場者数 (累計) ※各年度の () 内は各年度の人数	(H28) 50人	B	企画政策課
	(H29) 101人 (51)		
	(H30) 260人 (159)		
	(R1) 939人 (679)		
	(R2) 1,138人 (199)		
	(R2) 1,200人		

4 主な取り組み

基本目標 2	湖西市への新しい人の流れをつくる		
施策①	観光交流まちづくりを推進する		
事業名	新居関跡保存整備事業	主管課	文化観光課
事業内容	地域や観光の活性化のため、国特別史跡にふさわしい新居関所の復元整備を行い、貴重な文化遺産を後世に伝えるとともに、本市の観光拠点として活用していく。		
R2実績	・ 建築設備・外構改修工事 ・ 整備事業報告書作成		
施策②	移住・定住の促進を図る		
事業名	移住・定住促進事業	主管課	企画政策課
事業内容	市外や東京の移住センターなど、「移住・定住」の紹介をするため、市の概要や助成制度などをまとめたポスターやリーフレットを作成し、相談会に参加する。また、市独自の空き家バンクを活用し、移住・定住者の受入れを行う。		
R2実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住パンフレット増刷 ・ 県西部地域局主催によるオンライン移住ツアーへの参加（1回） ・ ろうきん住まいの見学会（市内開催）での移住定住ブース出展（1回） ・ 移住・交流&地域おこしフェア（オンライン開催）への参加（1回） ・ 企業訪問による移住定住パンフレットの配布 ・ 市外住宅展示場でのブース出展（豊橋市・浜松市 計2回） 		
その他の事業	事業名	事業内容	
	主管課	事業実績	
	こせい×こさいに関する連携	滋賀県の湖西地区（高島市）と連携し、プロモーションを行うことで、お互いの全国的な知名度のアップを図る。	
	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「湖西」連携観光パンフレット作成 ・ 連携に関する打ち合わせ 	
	住もっか「こさい」定住促進奨励金	「職住近接」による、ゆとりある豊かなライフスタイルを提案し、若い世代の定住を促進するため、市内に住宅を取得する世帯に対し、最大100万円の助成を行う。	
	企画政策課	申請件数 111件 新築（建売） 102件 市外転入 14件（46名）	
	新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金	若い世代の湖西市への移住定住を促進し、職住近接により将来に渡り豊かで、ゆとりあるライフスタイルを提案するため、婚姻を機に市外から転入する夫婦に対し、新生活応援金を交付する。	
企画政策課	申請件数 47件 【内訳】 夫婦ともに転入 18組 夫のみ転入 15組 妻のみ転入 14組		

基本目標3 湖西市の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

評価

D

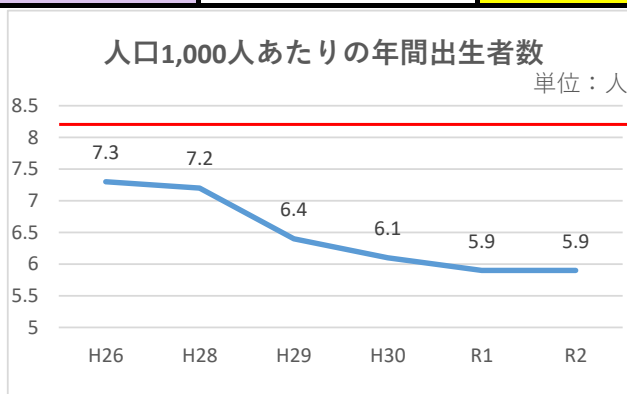
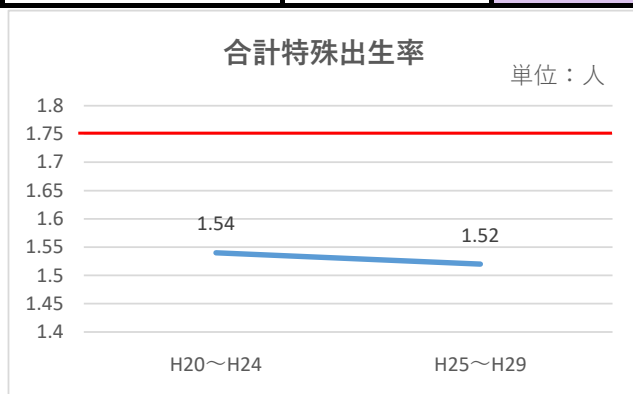
1 戦略の方向性

少子化の進行、核家族化の進展、共働き家庭の増加、時間的制約等を背景として、子育てに対するニーズが多様化しています。また、経済的な理由から、結婚・出産に不安を抱く若者も増加しています。

結婚・出産・子育てを取り巻く環境の変化に対して、子育て支援・教育内容の充実、結婚のサポート体制の整備を推進することで、若者や子どもたちに優しいまちづくりを目指します。

2 数値目標の達成状況

数値目標	基準値	実績値	目標値 (R2)	指標担当課
合計特殊出生率	1.54 (H22)	1.52 (H25~H29)	1.75	企画政策課
人口1,000人あたりの年間出生者数	7.3人	5.9人	8.2人	子育て支援課






3 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

※R2は目標値

施策① 結婚・出産のための支援の充実を図る	数値	評価	指標担当課
婚活イベント参加者数 (累計) ※ () 内は各年度の参加者数	(H26) 0人 (H28) 0人 (H29) 37人 (37) (H30) 75人 (38) (R1) 127人 (52) (R2) 127人 (0)	A-	企画政策課
	(R2) 100人		
人口1,000人あたりの年間出生者数	(H26) 7.3人 (H28) 7.2人 (H29) 6.4人 (H30) 6.1人 (R1) 5.9人 (R2) 5.9人	D	子ども家庭課
	(R2) 8.2人		
施策② 子育て世帯への支援の充実を図る	数値	評価	指標担当課
子育て支援センターが運営する事業の利用者数 (放課後児童クラブを除く。)	(H26) 31,806人 (H28) 40,813人 (H29) 41,112人 (H30) 42,046人 (R1) 36,252人 (R2) 13,722人	C	子ども家庭課
	(R2) 48,500人		
市の子育て支援策についてよいと思う市民の割合	(H26) 34.9% (H28) 52.6% (H29) 63.5% (H30) 63.6% (R1) 65.8% (R2) 65.8%	A	企画政策課
	(R2) 65%		

施策③	働きながら産み育てるための支援の充実を図る	数値	評価	指標担当課
保育園を利用しやすいと思う保護者の割合（公立保育園）	(H26)	新規	B	幼児教育課
	(H28)	97.5%		
	(H29)	98.1%		
	(H30)	100%		
	(R1)	100%		
	(R2)	97%		
放課後児童クラブ数 ※30年度は箇所＝開催場所数、単位＝開催クラス数	(R2)	100%	B	教育総務課
	(H26)	8箇所		
	(H28)	8箇所		
	(H29)	9箇所		
	(H30)	9箇所10単位		
	(R1)	9箇所10単位		
(R2)	9箇所11単位			
(R2)	12箇所			

4 主な取り組み

基本目標3	湖西市の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策①	子育て世帯への支援の充実を図る		
事業名	こども医療費助成事業	主管課	子ども家庭課
事業内容	子どもの疾病の早期発見と適正な治療を受けさせることを促進し、子どもの健全な育成に寄与するため、中学3年生までの入院・通院にかかる医療費の一部を助成する。		
R2実績	0歳から高校生相当年齢までの、通院、調剤、入院等の保険診療分の医療費を助成（原則自己負担なし） ・乳幼児給付件数：入院246件、通院29,655件 ・児童給付件数：入院126件、通院55,802件 ・高校生給付件数：入院47件、通院13,283件		
施策②	働きながら生み育てるための支援の充実を図る		
事業名	放課後児童健全育成事業	主管課	子ども家庭課
事業内容	保護者の就労等により留守家庭となる小学校児童の健全育成を目的とし、小学校の空き教室等を利用した放課後児童クラブ運営業務を委託により実施する。		
R2実績	全9箇所11単位、開設日数2,699日（合計）、登録児童数462人（合計） ※箇所＝開催場所数、単位＝開催クラス数		
その他の事業	事業名	事業内容	
	主管課	事業実績	
	不妊治療助成事業	少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担軽減を図るため、子どもが欲しいと願っている夫婦に不妊治療（特定・一般）の治療費の一部を補助する。	
子ども家庭課	不妊治療費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療費助成：28組 ・一般不妊治療費助成：10組 	

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

評価
B

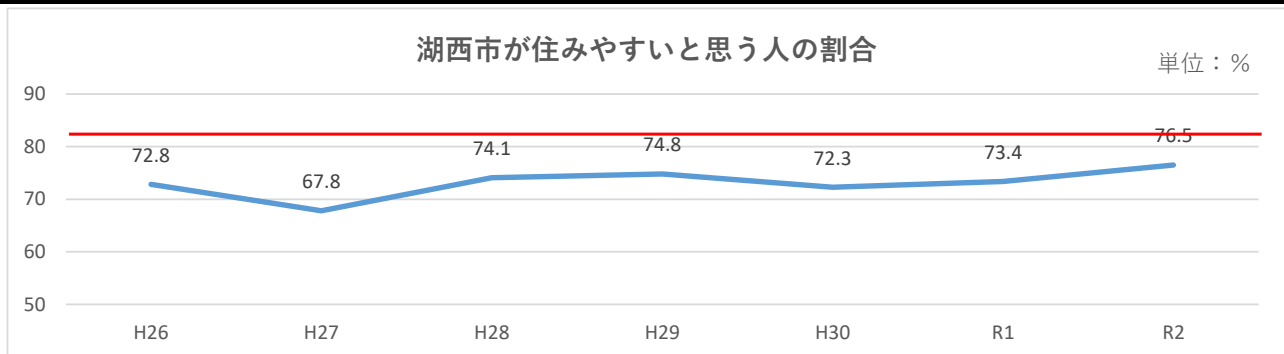
1 戦略の方向性

全国的な人口減少時代のなかにあって、地域間競争の激しさが増し、これからも選ばれる自治体であり続けるためには、次世代へ自信をもって引き継げるまちづくりが必要です。

そのためには、現役世代はもちろんのこと、本市の将来を担う世代が本市に愛着を持ち、夢と希望を抱きながら、安全に安心して暮らし続けられるよう「住みやすい、住み続けたい」と感じることができるまちづくりをめざします。

2 数値目標の達成状況

数値目標	基準値	実績値 (R2)	目標値 (R2)	指標担当課
湖西市が住みやすいと思う人の割合	72.8% (H26)	76.5%	85%	企画政策課


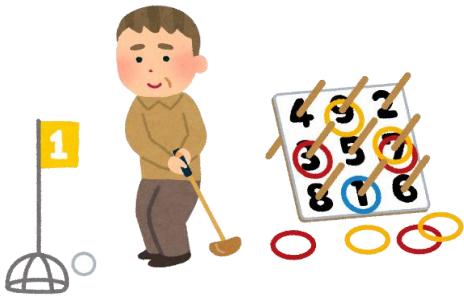



3 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

※R2は目標値

施策① 地域の防災・防犯力の向上を図る	数値	評価	指標担当課
地域防災訓練参加者数	(H26) 12,336人 (H28) 13,685人 (H29) 13,531人 (H30) 13,532人 (R1) 13,370人 (R2) 2,489人	D	危機管理課
	(R2) 14,350人		
人口1,000人あたりの刑法犯認知件数	(H26) 4.9件 (H28) 4.5件 (H29) 6.1件 (H30) 5.1件 (R1) 5.0件 (R2) 4.0件	A	危機管理課
	(R2) 4.1件		
施策② 健康長寿を推進する	数値	評価	指標担当課
高齢者スポーツ大会参加者数	(H26) 1,708人 (H28) 1,825人 (H29) 1,896人 (H30) 1,863人 (R1) 1,995人 (R2) 0人	D	スポーツ・生涯学習課
	(R2) 1,900人		
施策③ 多文化共生を推進する	数値	評価	指標担当課
多文化共生に関するセミナーの実施件数 (累計) ※各年度の () 内は各年度ごとの件数	(H26) 2件 (H28) 3件 (1件) (H29) 4件 (1件) (H30) 6件 (2件) (R1) 7件 (1件) (R2) 8件 (1件)	A	市民課
	(R2) 8件		

4 主な取り組み

基本目標 4		時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	
施策①		地域の防災・防犯力の向上を図る	
事業名	津波避難施設整備（命山・津波避難タワー等）	主管課	危機管理課
事業内容	津波避難計画に基づき、津波避難施設空白域を解消するよう、命山や津波避難タワー等の津波避難施設の整備を進める。		
R2実績	津波避難計画に基づく津波避難施設を整備。 ①高師山地区津波避難タワー工事 ②工事管理業務委託 ③地盤変動影響調査		
施策②		健康長寿を推進する	
事業名	老人クラブ活動等推進費	主管課	高齢者福祉課
事業内容	高齢者の健康で生きがいある生活の向上を図るため、いつでも、どこでも、だれでも生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境づくりを推進する。		
R2実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツ愛好部各種大会が一年間中止になったが、単位クラブごとにグラウンドゴルフなど、道具を共有しない種目のスポーツ活動を実施した。 ・174人の家庭（90歳以上の高齢者・寝たきりの高齢者・一人暮らしの高齢者）を36の友愛訪問チームが訪問し、地域の交流を深めた。 ・各種「研修会」「交流会」への参画及び新規会員加入促進運動		
施策③		多文化共生を推進する	
事業名	ポルトガル語・スペイン語通訳事業	主管課	市民課
事業内容	ポルトガル語とスペイン語の通訳を常駐し外国人と日本人が相互理解と協調のもとに安心して暮らせる地域づくりを推進する。		
R2実績	①外国人総合窓口（旧ポルトガル語・スペイン語窓口通訳）設置：通訳9,482人、文書翻訳293件 ②ポルトガル語・スペイン語版広報紙発行：12回 ③通訳派遣事業：46件（湖西病院除く、新規登録3人）		
その他の事業	事業名	事業内容	
	主管課	事業実績	
	自主防災組織、各種団体への支援、啓発	安心して暮らせるようにするため、自主防災会に対し、防災訓練への活動支援、防災資機材の購入助成を行い、災害時の備えを啓発していく。また、地域防災指導員に対し、地区の防災力向上のための活動を支援する。	
	危機管理課	①自主防災会資機材整備の補助金交付 ②自主防災会防災訓練交付金	
	安全安心ネットワークの確立・構築支援	犯罪の起きにくいまちづくりの取組を全市を挙げて推進するため、ボランティア団体の活動を促すとともに、各自治会または中学校区を目安に防犯まちづくり団体等の結成を促し、関連団体間の安全安心のネットワークを構築する。	
危機管理課	①防犯灯の新設（25基）、修繕（8基） ②防犯灯の管理（4,987基） ③青色パトロールの実施（105回） ④こさい安全・安心まちづくり大会（参加者30人） ⑤犯罪被害者等支援推進計画策定		